北海道大学 大学院医学研究科 医学部

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

TEL:011-716-2111(北海道大学代表)

●生理	系			
講座	分野	役職	氏名	研究
生化学	分子生物学	教授	佐邊 壽孝	・上皮組織構造の構築と維持の基本原理
		准教授	橋本 茂	・上皮細胞、免疫細胞、神経細胞の運動と極性形成
		助教	橋本 あり	・EMT(epithelial-mesenchymal transition)の制御機構
		助教	小野寺 康仁	・ヒト乳癌や肺癌に特有な浸潤分子装置の同定、制御機構と超微細構造解析
		#/ 1=	± 1 ± 1	・がん治療薬開発の為の分子標的の提示
	医化学	教授	畠山 鎮次	・ユビキチン・プロテアソーム系タンパク質分解
		助教	築山 忠維	・ユビキチンリガーゼE3の多様性
		助教 助教	高橋 秀尚 渡部 昌	
	解剖学	教授		・競合的な小脳シナプス回路発達の分子機構
	77 41 7	講師	山崎美和子	・過酷な競争を生きぬくシナプス回路
		助教	宮崎 太輔	
		助教	今野 幸太郎	
		助教	内ヶ島 基政	
	組織細胞学	教授	岩永 敏彦	・精鎖結合蛋白(レクチン)の組織、細胞レベルでの発現解析
		准教授	岩永 ひろみ	・消化管の機能形態学
		助教	小林 純子	・分泌機構の分子機構(神戸大清野進教授との共同研究)
		助教	木村 俊介	・関節の形態学
				・なぜ細胞は美しいか?
				・膵導管系は機能的に均一な管とみなせるか? ・知覚神経終末では 伝達物質ATPを介しニューロンとグリアが語り合う
生理学	時間生理学	特任教授	本間 さと	・ARSTHERNATION   AREMINISTRUCTURE   AREMINISTRUC
工程于	时间工程于	助教	西出 真也	・生物時計の分子機構
		助教	山仲 勇二郎	・生物時計の細胞機構
		助教	榎木 亮介	・中枢時計と末梢時計
	神経生理学	教授	田中 真樹	・時間知覚の脳内機構
		助教	山野辺 貴信	・ルールに基づいた行動選択
		助教	Sergey Kurkin	・空間的注意のトップダウン制御
-ttm 24	11 (77 <del>11 </del> 777 2)4	助教	國松 淳	・神経スパイクの情報量解析
薬理学	神経薬理学	教授	吉岡 充弘	・セロトニン作動性神経系の機能的役割
		講師 助教	泉剛	・動物モデルを用いた発達期依存的な常道行動変容と精神障害に対する新規 治療薬物の探索
		助教助教	吉岡 充弘 大村 優	-
	細胞薬理学	教授	三輪 聡一	「MM 単一年 単一年
	心心不生于	講師	一輪 № 堀之内 孝広	おけるその役割の解明
		助教	寺田 晃士	・Gタンパク質共役型受容体シグナリングの多様性と普遍性の解明
		助教	東恒仁	・ニコチンおよびタール除去タバコ煙水抽出液(Cigarette Smoke Extract: CSE)中の細
				胞傷害因子の性状解析

●病理	●病理系								
講座	分野	役職	氏名	研究					
病理学	分子病理学	講師 ダ助教 フ	笠原 正典 外丸 詩野 大塚 紀幸 宮武 由甲子	・主要組織適合遺伝子複合体(MHC)とその関連システムの研究 ・プロテアーム・ユビキチンシステムの病態における役割の解析 ・悪性腫瘍・難治性炎症性疾患の病態・病因に関する研究 ・可変性リンパ球受容体に関する研究 ・慢性ウイルス感染とその関連疾患の病態に関する研究					
	腫瘍病理学	特任准教授 准教授 助教 助教	田中 伸哉 西原場 東京 大谷野村 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東	◆臨床病理学 ・外科病理診断学・人体病理学に関する総合的な研究 ・脳腫瘍の新しい病理診断法の研究 ・消化器系腫瘍の病理学的な総合的研究 ・悪性軟部腫瘍の総合的研究 ・呼吸器疾患の病態解明 ◆実験病理学 ・癌の発生メカニズムの研究 ・イメージング法を用いた病態解析 ・マウスモデルを用いた生物発生・疾患に関する研究 ・神経アポトーシスの研究 ・学生が創造する自由な研究					

<u>講座</u>	分野	役職	氏名	研究
	分子診断病	部長	松野 吉宏	・肺・縦隔腫瘍、リンパ系腫瘍の臨床病理学的研究
	理学(協力分	副部長	三橋 智子	・がんの病理診断支援に関する研究
	野)	特任講師	畑中 豊	・臨床研究における病理診断の在り方に関する研究
		助教	畑中 佳奈子	・胆膵領域疾患の臨床病理学的研究
		特任助教	高桑 恵美	•軟部腫瘍の臨床病理学的研究
		特任助教	山田 洋介	・分子病理診断と治療効果予測に関する研究
微生物学	免疫学	教 授	瀬谷 司	・ヒトに本来備わる生体防御の機構(自然免疫)と感染症
		准教授	松本 美佐子	・自己・非自己識別の分子構造の解析
		講師	押海 裕之	-癌免疫療法
		助教	志馬 寛明	・感染症と対策
		特任助教	舟見 健児	•Toll-like receptorsの機能解析
		特任助教	佐藤 治子	・分子進化と微生物応答
		特任助教	東 正大	-補体系概説
	病原微生物	教授	有川 二郎	・ハンタウイルスに関する研究
	学	准教授	吉松 組子	
		助教	清水 健太	
		助教	五十棲 理恵	

●社会[	医学系			
講座	分野	役職	氏名	研究
予防医学	環境医学	教授 准教授	藤田 博美 若尾 宏	・環境因子への生物応答の分子機構 ・ES細胞からの免疫細胞選択的分化誘導とその再生医学における基礎・応用研究 ・ES細胞からの免疫細胞の選択的分化誘導とその再生医学における応用
	公衆衛生学	教授 助教	玉腰 暁子 佐々木 成子	・高齢者サポートネットワーク研究 ・職域における潜在的な神経障害の評価と予防対策の確立 ・シックハウス症候群の疫学研究 ・小児発達コホート ・職域における循環器疾患を中心とした生活習慣病のコホート研究 ・動物実験グループ内分泌かく乱物質による生体影響の解明
社会医療管理学	医療統計・医療システム	教授助教 助教	寺沢 浩一 的場 光太郎 村上 学 川畑 秀伸	・個人識別:身長の推定、年齢の推定     ・死亡時期の推定:従来の方法の改良、法医昆虫学(蝿、甲虫)     ・窒息:縊死(溢血点)、溺死(診断、珪藻)     ・損傷:発生機序の推定     ・臨床推論     ・医学教育における隠されたカリキュラムの影響

●内科	系			
講座	分野	役職	氏名	研究
内科学	呼吸器内科学	教准講講助助助助助助助助特授教師師教教教教教教教教教任授教師師教教教教教教教教教的助授	西南辻大今品榊長朝伊鈴渡清村須野泉野川原井比佐木部水原 聡哲尚純桂 無 雅拓薫 一聡哲尚純桂 棄 雅拓薫治康三史 文 肇朗 子	◆呼吸病態生理グループ ・喫煙関連肺疾患とくにCOPDに関連する病因・病態に関する研究 ・肺病理検体やマウスモデルを用いて線維化病態における再生上皮過形成に注目した研究 ・肺リンパ脈管筋腫症、気管支喘息、急性肺障害等、疾患横断的研究を通じて、さまざまな病態における分子標的の探索、あるいは治療効果・予後判定のための臨床指標の探索などを目標とした研究 ◆免疫・アレルギーグループ 〇臨床 ・気管支喘息に関する遺伝学的素因に関する研究 ・3D-CTを用いた、喘息気道リモデリングの解析 ・北海道上士幌町住民を対象とした疫学研究 — 厚生労働省班分担研究 〇基礎 ・マウス喘息モデルを用いた、喘息の病態、新規治療薬開発に向けた基礎的研究 ◆肺癌グループ ○基礎 ・腫瘍免疫学~肺癌における腫瘍免疫機構、腫瘍特異的免疫治療に関する研究 ・分子腫瘍学~肺癌の遺伝子異常と遺伝子治療・分子標的治療に関する研究 ◆循環・代謝グループ ○臨床 ・インスリン分泌とインスリン抵抗性との関連について ・心サルコイドーシスの早期診断における18F-FDG PET、MRIの有用性 ○基礎 ・アディポサイトカインの発現調節機構について ・MIF(macrophage migration inhibitory factor)が脂肪細胞の機能に与える影響について

講座	分野	役職	氏名	研究
Mt. T. Andrew	免疫·代謝内		渥三保堀マアク近柴西奥石中澤美好田田アル藤崎尾(川垣田美好田田アル藤崎尾)側垣田はカプ琢跡妙志康整享達秀晋哲カカプ琢跡妙志康整享也明助也が工磨也織 暢	◆膠原病グループ ・抗リン脂質抗体症候群 ・全身性エリテマトーデス ・強皮症 ・膠原病の疾患感受性遺伝子に関する研究  ◆肝臓グループ 〇基礎 【PKD研究グループ】 ・多発性嚢胞腎(PKD)の嚢胞形成機序・治療法の解明 ・種々の降圧薬投与下での嚢胞形成の進行度についての解析 ・嚢胞腎における高血圧の発症機序の解析 【糖尿病腎症のモデルマウスを使用した、糖尿病腎症免疫的機序が関与している可能性について研究 【血管炎グループ】 ・プロピルチオウラシル(PTU)投与によるMPO-ANCA関連血管炎のモデル開発など、血管炎についての研究 〇臨床 ・膜性腎症に対する治療としてのonticelli regimen変法の効果の検討 ・多発性嚢胞腎の病早期における150-water PETを用いた血管内皮機能障害の検討  ◆糖尿病・内分泌グループ ○基礎 【脂肪・肥満・動脈硬化研究グループ】 ・ある脂肪滴周囲蛋白に注目し、培養脂肪細胞、培養マクロファージ細胞、ヒト動脈硬化プラーク検体ならびに遺伝子改変マウスなどを用いて研究を行っている。 ・肥満/脂質・糖代謝/動脈硬化プラークについて分子学的成因や機序の解明 【膵β細胞研究グループ】 【ACTH受容体研究グループ】 【ACTH受容体研究グループ】 ・ACTH受容体研究グループ】 ・ACTH受容体の(MC2R)を欠損したマウスの表現型を調べることで、ACTHが全身臓器に与える影響について解析を進めている。 の臨床 ・標準的インスリン治療の確立に向けた研究
	消化器内科学	教准准准講講助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助的教教教教教教教教教教	坂橋加小清中大間河小桑中桂結夏吉福荘本野藤松水馬西部上野谷西田城井田島拓隆紀元嘉勇誠俊克洋尚将満武敏 武拓也哉 嗣人一 介裕 子城 彦志光史哉 嗣人一 介裕 子城 彦志光史	-動脈硬化プラーク制御に向けた研究
	循環病態内 科学	教講講師   助助 助助助助助   助助助助助   助助助助助助助助助助助助助助助	在一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	◆不整脈・心臓電気生理学・パッチクランプ法、膜電位光学マッピングなどを用いた、高血圧性肥大心における心臓突然死の機序解明・病態モデルでの心房細動基質に関する研究 ◆虚血・心臓カテーテル・Adaptive Servo-Ventilation(ASV)(図1)を使用し、心機能の改善や長期予後に影響を与える交感神経活性の抑制効果に関して検討・硬化性大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 ・心不全・運動負荷・酸化ストレス制御による心不全治療・予防の開発・心不全におけるナチュラルキラーT細胞の役割の解明 ・心エコー・二次元・三次元スペックルトラッキング法を用いた心筋のストレイン(伸び縮み)解析

講座	分野	役職		氏名	研究
					◆画像診断 ・心臓CT ・心臓核医学検査  ◆血管・分子生物学 ・NKT細胞がメタボリックシンドロームの発症・進展で重要な役割を果たしていることを明らかにした。 ・生活習慣病から心血管病に至る一連の病態についてNKT細胞に着目しての解析
	腫瘍内科学	教授 准教授 助教 医学部特 任助教	秋 木 清 天 野	一郎 康 虎次	・肺癌における転写因子AP-1を標的にした分子標的治療に関する研究 ・ベンツピレンやシリカ暴露によるヒト気管支上皮細胞のトランスフォーメション と遺伝子発現の変化に関する研究 ・Ets族転写因子E1AFによる肺癌細胞の遊走・浸潤能の亢進とRho/ROCK系の関与 に関する研究 ・大腸癌組織におけるExtracellular matrix metalloproteinase inducer (EMMPRIN) の発現に関する研究
	血液内科学	教准准講助助助助授教教師教教教教授授授授授	遠藤重杉	淳聡健知勝明純司 之也男一	○臨床 ・急性リンパ性白血病患者に対する中等量VP-16、シクロフォスファミド、全身放射線照射(Medium-dose VP/CY/TBI)前処理を用いた同種造血幹細胞移植法の有用性の検討 ・移植片対宿主反応が骨髄における造血および、その微小環境に及ぼす影響の検討 ・肝中心静脈閉塞症の診断における超音波検査の有用性の検討  ○基礎 ◆移植免疫グループ ・骨髄非破壊的前処置を用いた同種造血幹細胞移植(ミニトランスプラント)に関する臨床的研究 ・同種末梢血幹細胞移植の基礎的、臨床的検討 ・同種臍帯血移植の基礎的、臨床的検討 ・同種臍帯血移植の基礎的、臨床的検討 ・同種臍帯血移植の基礎的、臨床的検討 ・同種臍帯血移植の基礎的、臨床的検討 ・お子血液グループ バイオイメージングを用いた慢性骨髄性白血病の薬剤感受性試験の開発  ◆細胞免疫グループ ・病理学講座腫瘍病理学分野と共同で、これらのDOCKファミリータンパクの血液細胞における発現や機能解析を中心とした研究 ・血液悪性腫瘍や造血幹細胞におけるDOCKファミリータンパクの発現や機能の研究
病態情報	放射線医学	教放診医健保医分 講(准(特(講(助(助(助助、助(連々物助特授射療学学科生教 師断教任治師診教診教教教教教的形態 教任接触教部科学体授 いい いい いいりょう いいい いいりょう おり いいりょう いいしょう おり かいかい いんき はいいい いんき はいいい いんき はいいい いんき はいいい いんき はいいん はいいい いんき はいいい いんき はいいい いんき はいいい いんき はいいい いんしょう はいいい はいいい いんしょう はいいい いんしょう はいいい いんしょう はいいい いんしょう はいいい はいいい いんしょう はいいん はいいん はいいん はいいい いんしょう はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいいん はいい	小鬼清 真作阿加土加野丸水鍋原保藤屋藤	1 脓 健 保	◆画像診断およびInterventional radiology(IVR)に関する研究  ・単純撮影と造影検査、血管造影を用いた研究  ・核医学検査  ・CT  ・超音波検査  ・MRI  Interventional radiology(IVR)  ・PACSに関する研究  ・遠隔画像診断(teleradiology)に関する研究  ・放射線生物学的研究  ・情報の電子化  ・機能画像の放射線治療計画への利用

講座	分野	役職	氏名	研究
	核医学	教教教特 授授授 授授教任教授 助教教 動教	玉趙加吉志服岡平木 藤永賀部本田長吉 次郎 直祥也三神 健	・心血管系の新しい画像診断学 ・新しい核医学的手法による分子・細胞機能の評価 ・ポジトロン断層撮影法(PET)における腫瘍・炎症の新しい診断・評価法の開発と応用 ・癌の分子標的療法:分子イメージングによる早期治療効果の評価 ・細胞増殖・血管新生分子イメージング:がん分子標的薬の早期治療効果 評価法の確立 ・ポジトロンCT、画像解析、教育工学
	放射線生物 学(協力分 野)	教授 トレーサー情報 分析学分野教授	久下 裕司 趙 松吉	・病態評価、治療効果判定、治療戦略の観点から、分子、細胞の機能的変化 の判定に最も適した分子、すなわち病態分析・イメージングの標的分子を探索する研究
		准教授 分子イメージング 講座 特任講師 トレーサー情報 分析学分野 特	久保 直樹 西嶋 剣一 馮 飛	しうる分子プローブの開発研究 ・分子イメージングなど、トレーサーを用いた最新の病態分析・イメージング技術を 診断治療に応用する研究 ・分子イメージングなど、トレーサーを用いた最新の病態分析技術を先端
		助教	志水 陽一	創薬技術と融合させることにより、疾患の治療効果や体内での薬の動きを正確に捉えることができる新たなイメージング技術を創製する研究 ・ラジオトレーサー法による薬物の体内動態解析に基づく治療効果判定の解析・副作用の予測に関する研究

●外科		40. mm	An	Titato
<u>講座</u>	分野	<u> </u>	氏名	研究
科学	消化器外科	教授	武富 紹信	◆消化管グループ
	学I	准教授	佐藤 直樹	・腫瘍免疫(癌ワクチン)に関する研究
		准教授	神山 俊哉	・癌の転移に関する研究
		准教授	嶋村 剛	・微小転移検出システムの構築
		特任准教	鈴木 友己	・大腸癌治癒切除後の再発因子としての有用なmolecular markerの探索
		講師	高橋 典彦	◆肝·胆·膵グループ
		講師	岡田 忠雄	・多能性幹細胞を用いた肝不全治療に関する研究
		助教	本間 重紀	・消化器癌におけるMesothelin発現の生物学的意義の検討
				・肝細胞癌新規悪性度バイオマーカーの発現、機能解析の確立(E-FABP)
				◆消化器移植グループ
				・膵島移植に関する研究
				・肝臓移植後の免疫モニタリングに関する研究
				・臓器移植後の免疫抑制療法・免疫寛容誘導法に関する研究
				◆小児グループ
				・胆道閉鎖症における成因解明と予後予測因子の確立
				・肝芽腫における予後予測マーカーの確立
	消化器外科	教授	平野 聡	・胆道癌の根治手術術式の開発
	学 II	講師	七戸 俊明	・消化器癌に対する内視鏡手術の技術開発と教育
	'	講師	加賀 基知三	・呼吸器外科領域における低侵襲手術
		講師	樋田 泰浩	・難治癌に対する遺伝子診断と遺伝子治療法の開発
		助教	田中栄一	ALIGNIT - 17 7 OZEM T IN MICZEM T TOMAN TO 1919
		助教	宮本 正樹	
		助教	土川 貴裕	
		助教	松本譲	
		助教	加藤 健太郎	
		助教	海老原 裕磨	
		助教	浅野 賢道	
		助教	中西 喜嗣	
	循環器·呼吸		松居喜郎	・重症心不全症例に対する外科治療
	器外科学	講師	久保田 卓	・冠動脈、弁膜症疾患の外科治療
	HH Z I 1-1 J	講師	橘 剛	运动派( ) i 决定(人心 \$ ) / i i i i i i i i i i i i i i i i i i
		助教	大岡 智学	
		助教	加藤 裕貴	
	腎泌尿器外	教授	野々村 克也	・Pressure flow study およびvideourodynamicsを用いた神経因性膀胱
	科学	准教授	篠原 信雄	・器質的下部尿路通過障害における蓄尿および排尿動態の研究
	14.7	講師	森田 研	・p-53,MDR-遺伝子などmolecularマーカーの検索に基づいた膀胱癌補助化学療法是
		바마바	林田 明	非の決定に関する研究
		講師	守屋 仁彦	・VHL遺伝子の家系調査に基づいたVHL腎癌早期診断治療に関する研究
		助教	可度 1上/5 三井 貴彦	・4月に退伝子の多系調査に基 プルスリー   一番中州設断石源に関する研究   ・乳児膀胱尿管逆流症の成因および予後に関する研究
		助教	安部 崇重	・deoxyspergualinを用いた新しい初期免疫抑制法の開発に関する研究
		助教	丸山 覚	
		助教	土屋 邦彦	
		助教	橘田 岳也	
		助教	堀田 記世彦	

講座	分野	役職		氏名	研究
侵襲制御 医学	麻酔•周術期 医学	教授	森本	裕二	<ul><li>◆脳保護・脳蘇生に関する研究</li><li>・選択的培養神経細胞を用いた虚血性侵襲に対する各種薬物、低温の保護効果(森本、久野)</li></ul>
					・選択的幼弱培養神経細胞を用いた麻酔薬の神経毒性(森本・久野・橘・加藤類)・幼若ラットを用いた麻酔薬の神経毒性に関する電気生理学的検討(森本・橘・加藤類)
					♥吸入麻酔薬の薬理学的研究 ・吸入麻酔薬の記憶・学習能に及ぼす影響についての電気生理学的検討(橘)
					◆疼痛に関する研究 ・抗うつ薬の慢性疼痛抑制機序におけるノルアドレナリン作動性下行性抑制系の関与 (橋本、唐)
					・神経因性疼痛モデルラットにおける前帯状回のシナプス伝達変化の電気生理学的 検討(橘)
					・神経因性疼痛モデルラットにおけるミクログリアの活性化と疼痛過敏の関係(橋本、 敦賀)
					◆呼吸周期に関する研究 ・新生児ラット脳幹切片を用いた呼吸周期に関する電気生理学的アプローチ(瀧田)
					◆その他 ・HODMS (Hokudai OR Data Management System)を用いた研究
	救急医学	教授 准教授 病棟医長	丸藤 澤村 早川	淳	○基礎 ・生体侵襲と生体反応、そして臓器不全 - 救急医学分野の研究概要 - ・DICとSIRS
		助教·医局 長	上垣	慎二	·急性肺障害 ·PARs
		助教 助教		田 信彦 正寛	〇臨床 ・様々な侵襲の病態生理の解明や治療

<b>▲ +</b> 88 °	- <b>*</b> -			
	医学系	40. mm	A2	TT do
<u>講座</u>	分野	<u> </u>	<u> </u>	研究
機能再生 医学	整形外科学	教授 教授(体幹支持 再建医学)	三浪 明男 鐙 邦芳	○臨床 ◆上肢班 ・肩・肘のスポーツ障害に対する関節鏡治療法の開発
		教授(医学部保 健学科)	武田 直樹	◆脊椎脊髄班 ・脊柱変形矯正手術に対する新しい手術法の開発
		教授(人工関節・ 再生医学講座)	真島 任史	・難易度の高い頭蓋頚椎再建手術での安全性向上のための技術開発 ・内視鏡下低侵襲手術の開発と臨床応用
		教授(脊椎·脊髓 先端医学講座)		◆下肢班 ▼股関節グループ 
		准教授 講師・医局 長	岩崎 倫政 小谷 善久	・人工股関節の最大の課題である<骨―人エインプラント間の弛み>に 関する生体工学的・生化学的研究によるそのメカニズムの解明 ・破損、弛みを起こさない究極の人工股関節実現のための超低摩擦材料の
		講師講師	須藤 英毅 船越 忠直	開発およびコンピュータ解析を用いた理想的なインプラント形状の考案 ▼膝関節グループ
		助教 助教	高畑 雅彦 笠原 靖彦	・重度膝靭帯損傷患者のスポーツ復帰に不可欠な靭帯再建術に関する 臨床的研究を通じた、理想的再建材料の開発と低侵襲関節鏡視下手術の
		助教 助教	小野寺 智洋西田 欽也	確立・臨床応用による良好な靭帯機能再獲得とスポーツ復帰の加速化の実現 ・損傷十字靭帯の再建材料が移植後に生体内で受けるリモデリング(再構築)
		助教 助教 助教	髙橋 大介本宮 真入江 徹	に関する実験的研究による、その詳細な過程の生体工学的、組織学的、 分子生物学的解明とそれを促進するための種々のサイトカイン療法の確立 ▼足部・小児下肢疾患グループ
		列敦	八二 1敗	・先天性内反足に関する臨床的研究によるより有効な手術術式の確立と臨床応用 特殊創外固定器による骨延長手法を用いた各種下肢変形の矯正に関する臨床的研
				究とその臨床応用   ・生体工学的実験的研究および臨床的研究による足関節靭帯損傷に対する理想的靭   帯再建術の確立とその臨床応用
				〇基礎 •運動器組織再生医学 •同種複合組織移植
				・変形性関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症の分子遺伝子学的病因解明 ・メカニカルストレスに対する運動器組織応答
				・国南部腫瘍に対する遺伝子学的アプローチ
	運動機能再 建医学	教授 診療准教	安田 和則 北村 信人	・高機能ゲルを応用した軟骨自然再生に関する研究 ・超低摩耗性膝人工関節・人工軟骨の開発
		診療准教 助教	近藤 英司河口 泰之	・腱・靭帯再構築現象に関する分子機構の解明とその人為的制御方法の開発・移植された腱・靭帯のリモデリングとその分子機構の解明に関する研究
				・高機能人工支持組織の開発とそれに対する生体反応分子機構の解明 ・ハイブリッド型人工靭帯の開発と低侵襲性解剖学的靱帯再建術の開発

講座	分野	役職	氏名	研究
	形成外科学	教 講 講師 助 教 教 教	山本 有平 古川山 恵 明山 恵彦 林 橋 紀久子	・有茎、遊離組織移植を用いた機能的および整容的再建に関する臨床的研究 ・リンパ節転移、リンパ管再生、神経再生、脈管奇形の病態
	リハビリテー ション医学 (協力分野)	教授 准教授 助教·医局 長	生駒 一憲 遠山 晴一 松尾 雄一郎	・神経障害の機能回復と神経系のplasticityに関する研究 ・高次脳機能障害とそのリハビリテーションに関する研究 ・装具と補装具に関する研究 ・疼痛のコントロールに関する研究 ・力学的負荷が細胞外マトリックスに及ぼす影響のメカニズムに関する研究 ・スポーツ傷害に対する運動療法の効果に関する研究 ・スポーツ選手の運動機能および心肺機能に関する研究
生殖·発達		教講講講助助助助助地理 准子授師師教教教教教教授 授予 という はいかい おおおお 教教教教 教授 という はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	有小田山井上白武伊岡石長賀林島田口野石田藤本黒和正一敏雅晶倫秀充智孝信俊郎広文裕彦明人城之久	◆免疫グループ ・原発性免疫不全症候群における基礎的・臨床的研究(特にCGD, SCID, HIMS, XLA, WAS, CVIDICついて) ・ADA欠損症における遺伝子治療臨床研究 ・自己免疫疾患の病態解析・臨床研究(特にJIA, DM, SSについて)など ・感染グループ ・EBウイルス、麻疹ウイルス、HHV-6、HHV-8、またマイコプラズマ、結核などの感染症の臨床的、ウイルス学的、免疫学的な研究 ・血液グループ ・造血幹細胞移植後の肝中心静脈閉塞症の病態解析 ・独和ケアの臨床的解析 ・ウイルムス腫瘍の分子生物学的解析 ・神経グループ ・脳機能研究 ・予遺伝学研究 ・腎臓グループ ・小児腎臓病疾患(ネフローゼ症候群、IgA腎症、SLE腎炎)に関する全国多施設共同研究に、北海道の中心的施設として参加協力 ・北海道全域の小児腎臓病患者に関する症例検討会を、一般小児科医を交えて定期的に主催し、小児腎疾患の最新の診断・治療法の普及を行っている ・内分泌・糖尿病グループ ・ステロイド定生異常症の分子遺伝学的解析 ・ステロイド21水酸化酵素症の遺伝子治療の基礎的検討 ・通環器グループ ・ミトコンドリア病など神経筋疾患における遺伝子解析 ・心エコー・心臓MRIなどを用いた心機能・血行動態解析 ・新生児グループ ・先天性間質性肺疾患に関する研究 ・新生児慢性肺疾患の発症機序の解明と治療法の開発 ・遺伝染色体グループ ・ベックウィズ・ウィードマン症候群、高カルシウム尿症、遺伝性無痛無汗症、頭蓋早期癒合症症候群などを対象にした先天奇形症候群の遺伝子異常の検索 ・染色体異常と各種先天奇形症候群および発癌の関係について検討 ・代謝消化器グループ ・先天代謝異常症の診断と治療 ・消化器肝臓疾患の診断と治療
	産科·生殖医 学	教授(保健科学研究院) 特任准教授(寄	櫻木 範明 佐川 正 金内 優典	◆婦人科腫瘍学 ・自律神経温存広汎子宮全摘術の確立 ・体癌の分子生物学的発生機序の解明 ・体癌の新しい分子マーカーおよび分子標的治療の研究
		付講座) 講師 助教 助教 助教 特任助教 (寄付 講座)	渡利 英道 武田 真人 首藤 聡子 小林 範子 薫 培新	◆周産期医学 ・早産の予知と予防 ・抗リン脂質抗体と産科異常 ・妊娠中毒症のゲノム疫学解析と発症予防 ◆女性生殖内分泌学・生理学 ・卵胞発育における内分泌因子に関する研究 ・卵巣内因子の排卵における役割の研究
	産科・生殖医学(不妊内分 産科・生殖医学(産科/周 産母子セン ター・産科)	助教 教授	工保水山森山西武河东縣坂上田川田田田口葉 一貫	・排卵機構に関わるサイトカインに関する研究

講座	分野	役職	氏名	研究
	産科・生殖医学(産科/周 産母子センター・新生		長 和俊 盛一 享徳	
感覚器病	皮膚科学	教准講講助助助助5	清阿青西乃藤夏新出州田賀熊田市 地名	・遺伝性皮膚疾患の病態解明、出生前診断、遺伝子治療 ・表皮の分子細胞生物学 ・重症型薬疹の発症メカニズムについての研究 ・骨髄細胞から表皮細胞への分化の検討 ・皮膚悪性腫瘍の切除範囲の検討 ・皮膚悪性腫瘍の悪性度に関する検討
	耳鼻咽喉科· 頭頸部外科 学	教授 教教授 接 持師 講師 任師 教 教 教 動 動 動 教 教 動 の 講 師 教 教 の 、 動 の 、 動 の 、 動 の 、 数 り の り 数 も の り 数 も の り 数 も の り 数 り の り 数 り の り る り る り の り る り の り の り の り の り の	福折本中鈴武髙山田館間、田田部間、田田市の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	・頭頸部癌に対する臓器・機能の温存を指向した集学的治療の研究 ・原発部位別および頸部リンパ節転移の程度からみた頸部郭清術の標準化 に関する研究 ・頭頸部癌に対する放射線と化学療法の同時併用療法の臨床研究 ・ウイルス性難聴とその予防 ・耳音響放射の臨床応用における研究
	眼科学	教診特診特講助助助特助 教教准准 教教准准 助助助特助 教教任教	石陳大南齋野新野吉神大田 野場藤田明田沢田口 進電運研航航康実史敦剛晋輝軍昭一 介弘香子宏司	◆眼免疫学グループ ・ぶどう膜炎モデルと分子遺伝学研究 ・紫外線急性角膜炎モデル ・アデノウィルス ◆網膜細胞生物学(血管)グループ ・糖尿病網膜症や加齢黄班変性などの病理的血管新生を原因とする疾患についての研究 ◆網膜細胞生物学(神経)グループ ・ゲラニルゲラニルアセトンによる正常眼圧緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死抑制 ◆眼腫瘍・病理学グループ ・ヒトの検体を使用して、糖尿病網膜症の増殖組織、翼状編、結膜腫瘍の病理学的研究
神経病態学	精神医学	准講助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助的教教	井中田北賀賀栗朴豊上川中市古古田 秀猛伸輝雄勇勇紹賢敦	◆精神薬理・神経化学グループ ・抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬の作用機序研究 ・覚醒剤精神病動物モデルを用いた行動薬理学的研究 ・ストレスや不安の神経化学的・行動薬理学的研究 ・難治性うつ病の治療戦略の確立 ・分裂病治療アルゴリズムの検討 ◆神経生理グループ ・けてきたてんかんの病態と治療に関する研究 ◆臨床精神病理グループ ・摂食障害(神経性無食欲症、過食症) ・不安障害(強迫神経症、パニック障害、対人恐怖症など) ・児童青年期精神医学の症候論的検討や治療論
	脳神経外科 学	教准講助助助助助 授教師教教教教教教教教教教	寶飛寺中小青七数清一俊若浩剛秀研博利介樹之 夫	・脳神経外科・神経再生研究 ・脳微小血管内皮細胞をターゲットとするmicrovascular diseaseの研究 ・悪性神経膠腫に対する水散性二酸化チタンを用いた光線・音響療法の開発 ・悪性神経膠腫の遺伝子プロファイル ・脳腫瘍幹細胞 ・もやもや病に関する研究(基礎・臨床)
	神経内科学	教授 准教授 助教 特任助教 特任助教	佐女木 秀郎 大 一崇郎 京郎 京郎 京郎 京郎 京郎 京郎 中野 中野 大	<ul> <li>・運動失調症に関する研究</li> <li>・神経疾患のバイオマーカー開発に関する研究</li> <li>・免疫性神経疾患に関する研究</li> <li>・筋疾患に関する研究</li> <li>・高次脳機能障害に関する研究</li> <li>・遺伝子解析研究</li> </ul>

●連携	●連携医学系					
講座	分野	役職	氏名	研究		
先端医学	神経生物学	教授	神谷 温之	・AMPA型グルタミン酸受容体のシナブス移行のタイミング ・カルシウムストアによるプレシナプス可塑性の増幅 ・プレシナプス可塑性の発現機構 ・プレシナプスグルタミン酸受容体の機能 ・プレシナプス短期可塑性の残存カルシウム仮説の証明 ・プレシナプスカルシウムチャンネルの同定		

 分野	役職	氏名	研究
 トレーサー情報分析学(協力分野)		趙 松吉	・病態評価、治療効果判定、治療戦略の選択の観点から、分子・細胞の機能的変化の判定に最も適した分子、すなわちイメージングの標的分子を探索し、そのイメージングを可能とする分子プローブを開発すること。 ・分子イメージング技術を腫瘍の放射線治療・分子標的治療や、動脈硬化における不安定プラークの検出などの診断治療に応用すること。 ・PETによる高度診断技術を先端創薬技術と融合させることにより、疾患の治療効果や体内での薬の動きを正確に捉えることが出来る新たなイメージング技術を創製する
			・分子イメージングに関する専門家の育成を行うこと。

●協力講座				
講座	分野	役職	氏名	研究
免疫科学	感染病態学 (遺制研)	教授 准教授 助教	志田 壽利 大橋 貴 張 険峰	・エイズワクチンの開発 ・HTLV-1/HIV感染の新しいラットモデル ・HTLV-1/HIV感染ラットモデルの解析と白血病の新治療法の開発
	免疫生物学 (遺制研)	教授 講師 講師	清野 研一郎 香城 諭 和田 はるか	・NKT細胞機能制御の分子機構の解明 ・多能性幹細胞を用いた新しい免疫制御に関する研究
	免疫制御学(遺制研)	教授 准教授 特任助教	西村 孝司 北村 秀光 佐藤 崇之	・免疫バランス制御法の開発とその癌、免疫病治療への応用 ・Type1/Type2免疫バランス制御法の開発とその癌、免疫病治療への応用 ・免疫バランス制御機能に関する研究 ・癌免疫療法及び遺伝子治療に関する研究 ・免疫バランス破綻によるアレルギー、自己免疫病等の発症機序解明および免疫バランス制御による治療法の開発に関する研究
	分子免疫学 (遺制研)	教授 助教 助教	上出 利光 森本 純子 前田 直良	・オステオポンチンの構造と機能、補助シグナル分子の構造と機能 ・メモリーT細胞の形成および維持機構におけるOsteopontinの役割の研究 ・ウイルス感染、および発癌におけるオステオポンチンの役割
癌病態学	癌生物学(遺制研)	助教	野口 昌幸水津 太	・コモンガンマ鎖の機能と重症複合免疫不全症 ・コモンガンマ鎖と細胞死(アポトーシス)の抑制 ・Aktと細胞死抑制シグナル
	癌ウイルス 学(遺制研)	准教授 助教	丸尾 聖爾 岩切 大	・EBウイルスによる発がんの分子機構

●寄附詞	●寄附講座				
講座	分野	役職	氏名	研究	
	探索病理学	教授 特任准教 准教教 助教 助教	田中原場 伸成 上海 电压 大谷野村田 原 基本 真 素 本 真 素 美	○臨床病理学 ・外科病理診断学・人体病理学に関する総合的な研究 脳腫瘍の新しい病理 診断法の研究 ・消化器系腫瘍の病理学的な総合的研究 ・悪性軟部腫瘍の総合的研究 ・呼吸器疾患の病態解明 ・JCウイルス感染症の研究 ○実験病理学 ・癌の発生メカニズムの研究 ・イメージング法を用いた病態解析 ・マウスモデルを用いた生物発生・疾患に関する研究 ・神経アポトーシスの研究 ・神経アポトーシスの研究 ・学生が創造する自由な研究	
	がん予防内 科学	特任教授 特任助教	浅香 正博 細野 秀崇	・消化器疾患の病態と治療 ・タバコと発癌 ・長寿遺伝子Sirtuinによる発癌制御	